

雨水出水浸水想定区域図(浸水継続時間) 【想定最大規模降雨(120mm/h)】

1. 説明文

① この図は、釜石市の公共下水道区域内において発生した近年の大雨のうち、浸水被害報告が最も多かった令和元年10月豪雨の降雨状況を基に、最も降水量が多かった時間帯(降雨ピーク時)に実際の約2倍となる1時間降水量120mmの雨が短時間で降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを示したものです。

この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、近年の異常気象等により想定を上回る降雨が発生した場合、この図に示されていない場所でも浸水する可能性があります。浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。

② この雨水出水浸水想定区域図は、令和7年度末時点の釜石市の下水道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨:1時間降水量120mm、24時間総雨量361.5mm)に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

③ このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。

④ このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水(河川の破壊または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。

2. 基本事項等

① 作成主体:釜石市

② 指定年月日:令和8年3月31日

③ 告示番号:釜石市告示第43号

④ 指定の根拠法令:水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項

⑤ 指定の前提となる降雨:概ね令和元年10月豪雨時の雨量と同程度の降雨で、24時間総雨量361.5mm、ピーク時の1時間に120mmの降雨がある場合

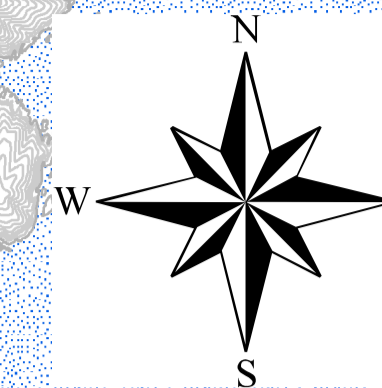
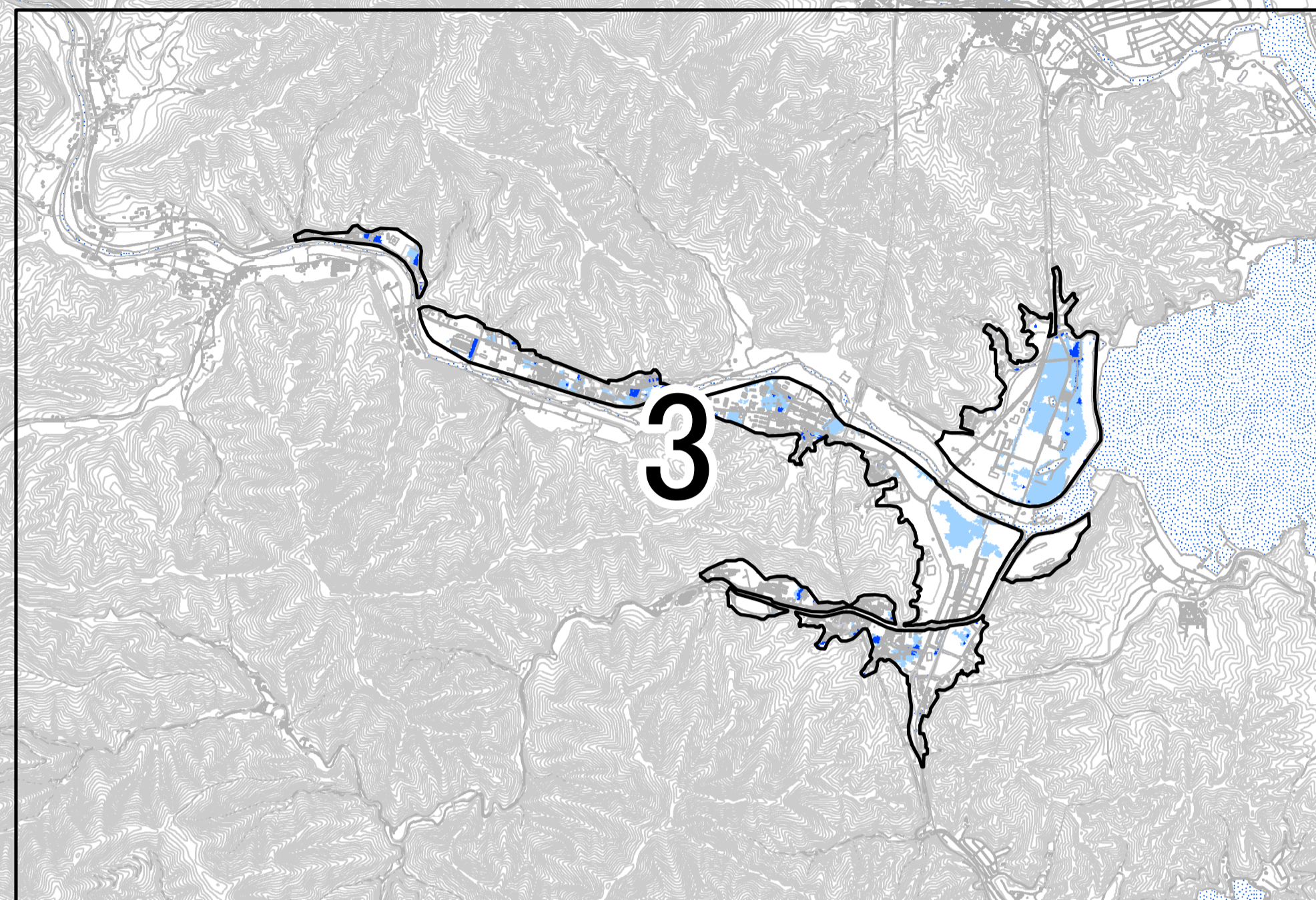
⑥ 浸水想定手法:浸水シミュレーション(簡易モデル)手法(降雨損失・氾濫解析を一連で実施)、地形情報を活用(下水道等の現況排水能力以上は全て溢れ、区域内の平地地に全量湛水するものとした)

⑦ その他計算条件等:対象区域を5m(25m²)のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

⑧ ポンプ運転条件:大雨時に既存ポンプ場が稼働できない状況を想定してポンプ場からの排水を考慮していない

⑨ 地形図および地盤高:令和7年7月時点の国土地理院基盤地図情報を基に作成

⑩ 国土地理院承認番号:「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 8JHs 9J」



全体図

凡例

浸水深0.5m以上が継続する時間

~12時間

~24時間(1日間)

公共下水道全体計画区域

